

南部駒踊（米田）



指定区分	市指定文化財
種別	市無形文化財
名称	南部駒踊（米田）
所在地	十和田市大字米田
保護団体	南部駒踊米田保存会
指定年月日	昭和 40 年 10 月 8 日
概要	<p>米田の南部駒踊は、今から約 350 年前、米田の八幡宮が建立されたときに始められたと伝えられている。以降、明治期から平成にかけて、中断することなく伝承されてきた。毎年 9 月の八幡宮の祭礼に奉納される。</p> <p>この芸能は、出陣から行軍、騎馬戦、凱旋の様子といった、戦場における軍馬の活躍を舞踊化したものとされ、駒踊の構成は、庭入り、直り駒、引き返し駒、進み駒、休み駒、横はね駒、三宝荒神、乗り違い、まわし駒、庭引きの順序で踊られる。</p> <p>また、駒踊のほかに、附舞として「七ツ棒」と「さんさ踊り」があり、「七ツ棒」は武士の奮戦の模様を舞踊化したものとされ、薙刀を先頭に、棒、太刀、杵、手平鉦、太鼓、笛をそれぞれ手にした者たちが円陣を作って踊る。「さんさ踊り」は、凱旋の将兵とともに老若男女が入り乱れて、戦勝の喜びを表した踊りとされる。</p>